

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

シバエビ瀬戸内海

対象水域	瀬戸内海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 生産技術部（百島）、岡山県農林水産総合センター 水産研究所、福岡県水産海洋技術センター 豊前海研究所、大分県農林水産研究指導センター 水産研究部 北部水産グループ
------	------	-------	--

・令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_233.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・参画機関は、本種に関する漁獲量や努力量、CPUE等の漁獲統計調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- 岡山県では下記データを収集済み
 - ・播磨灘に面する牛窓町漁協に所属する7隻の小型底びき網漁船による2020年以降の月別の漁獲量と総水揚げ隻数、有漁時CPUE（kg/日隻）
 - ・播磨灘（牛窓町漁協）および備讃瀬戸（寄島町漁協）において、小型底びき網標本船（各海域につき1隻）による2020年以降の月別の漁獲量と総操業日数、CPUE（kg/日隻）
- 福岡県では下記データを収集済み
 - ・周防灘における2019年以降の小型底びき網標本船による年別のCPUE（kg/日隻）
 - ・周防灘（行橋市魚市場）における2019年以降の年間取扱量（kg）
- 大分県では下記データを収集済み
 - ・周防灘で操業する小型底びき網標本船2隻による2000年以降の年別の漁獲量と総操業日数、CPUE（kg/日隻）
- 機構では下記データを収集済み
 - ・各県の収集したデータや生物学的特性

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊: 令和 5 年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_233.pdf)

- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- 瀬戸内海の各府県各海域における本種の漁業に関連した各種規制措置等
- ・周防灘では主に小型底びき網で漁獲され、山口県ではシラサとして取引されている
 - ・山口県では、春～秋は手繰第二種（えび漕ぎ）、秋～春は手繰第三種（桁網）での操業であるが、周年手繰第二種を操業する漁業者もいる
 - ・山口県では、一般的に周年漁獲されるが、出現盛期は沖合の11月～翌年3月である
 - ・山口県では、漁業者はエビ加工業者や仲買人等に「その他エビ」として直接出荷するため、漁協・支店も漁獲量等を把握することができない